

## 3歳6か月ごろの発達をめやす

### 「できた！」という達成感を大切にしましょう

階段を交互に足を出して上り下りできるようになったり、ケンケンで数歩前進できるようになったり、三輪車をこげるようになったり、からだ全体のバランスをとることができるようになります。  
→大人が手を持って片足立ちをする等、**バランスをとる遊び**を取り入れて一緒に楽しみましょう。  
→上手になるために練習することより、「できた！」という**達成感**が大事です。



### 左右それぞれの手で違った動きを取り入れてみましょう

手先もだんだんと器用になり、自分でボタンをはめたり、お箸が使える、はさみが正しく持てるようになったりします。

このように左右の手で違った使い方ができるようになり、利き手もほぼ定まります。

また、衣服を脱ぐなど生活面でも一人でできることが少しずつ広がります。

→左手で支えて右手で操作(入れる・切る等)できるような活動を生活に取り入れてみましょう。

### お子さんとの会話を楽しみましょう

大人の問いかけに答えたり、自分の経験したことを報告したりと自分なりの言葉で自由に会話を楽しむようになります。

今、目の前にないことも言葉だけでイメージできるようになります。

色々なことに対して「なんで？」と理由を聞いたり、大人に対して例えば「いちご(好きな服)じゃないとお出かけしない」「おばけこわいからトイレ行かない」などと自分なりの理由を言って反抗したりすることも増えます。

→お子さんとの会話を楽しみましょう。

この時期、言いたいことはたくさんあるけれどまだまだ充分には伝え切れません。

お子さんの気持ちを丁寧に聞き出し、受け止めましょう。

→子どもが困ったときなどに「こんな時はどうすれば良いのかな？」と尋ねてみたり、「ぶつかったら危ないから、歩こうね」などと「〇〇だから、△△しようね」や「〇〇だから、××しないでおうね」と丁寧に伝えたりしましょう。

数や色などに関心を持ち、数を数えたり、量として数を捉えたりできるようになってきます。

→無理にお子さんに言わせたり、言い直させたりするのではなく、おやつの数を見せてたり、

「赤いお花と黄色いお花、きれいね」等と経験にことばを添えたりしましょう。



### 遊びの様子を観察しましょう

お友達と一緒に遊ぶ経験を通して、社会的なルールを学び始めます。

お友達と同じ場面で同じことをして遊ぶことが楽しくなります。

\*物や順番の取り合い等、ぶつかることも多くなります。そのようなトラブルも社会的なルールを学ぶ良い機会です。

☆「10回したら交代ね」等、丁寧に順番などのルールを伝え、お友達と一緒に遊んで楽しいという経験が積めるようにしましょう。そして、また遊びたいという気持ちを育てましょう。

3歳6か月児健診では、お子さんに簡単な質問をして会話をしたり、積木を使って質問したり、お絵かきをしたりしながら、ことばの力、認識の力、操作の力を一緒に確認していきましょう。

乳幼児期の発達は、個人差がとても大きいです。一つのことのできないからといって焦らないでください。健診では、積木などのおもちゃを使って遊びながら、お子さんの全体的な発達について、お家の方と一緒に確認していきます。心配なことがあれば、草津市子育て相談センターまでお気軽にご相談くださいね。